

大和市

チームオレンジ 活動事例集

令和7年4月



大和市ではたくさんの人が
認知症の人と関わり、
寄り添う活動をしています。

目次

市内で活動するグループの紹介

ページ数

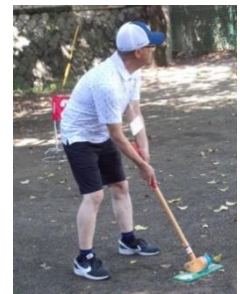
1. 下鶴間つきみ野地域	1
2. 中央林間地域	2
3. 南林間地域	3
4. 鶴間地域	4
5. 深見大和地域	5
6. 上草柳・中央地域	6
7. 福田北地域	7
8. 福田南地域	8
9. 桜丘・和田地域	9

1. 下鶴間つきみ野地域

▷ とにかくやってみよう！の精神で

認知症の人の話をまずは聞いてみよう、というところから活動はスタートしました。ある認知症の人とその家族に来ていただき、スーパーのフードコートで好きな飲みものを飲みながら、気軽に話せる雰囲気の中交流しました。

そして、その人が今何をしたいのか、この地域でどんなことができるか、地域と関わっていくにはどうしたらいいかなど、考えてみました。その結果、グランドゴルフのサークルに参加することに繋がりました。今後も、認知症の人や家族の思いを聴き、そこから自分たちには何ができるかを考えていきます。



▷ 送迎や声掛けなど、野ばらカフェでの活動

- おせっ会 -

野ばらカフェは、2ヶ月に1回行う認知症カフェです。皆で歌ったりゲームをしたり、おしゃべりを楽しんだり、また、送迎や声掛けなどを行って「誰もが心の垣根なく交流できる場」になるよう、活動しています。

2. 中央林間地域

たくさんの活動が行われています！

▷ 介サポ卒業生チームの交流会！

介護予防サポーターの卒業生が、偶数月に交流会を行い、懐かしい歌の会、男の料理教室、将棋の会などを企画、開催しています。認知症の人が家族や友人と参加するなどチームオレンジの視点を加えた活動に発展しています。



ウォーキング会を楽しむ



交流会のようす



懐かしい歌の会

▷ 気軽に集う場、認知症カフェでの交流

以前より行っている「ひなたぼっこ」というカフェでの活動です。楽しく過ごしてもらえるよう、1回ごとにテーマソングを決めています♪



▷ 市営住宅での活動も

「認知症になってもこの住まいで暮らし続けたい」という希望に応える活動です。おしゃべりサロンや日頃の声掛けを行っています。

3. 南林間地域

▷ 一緒にカフェへ行きませんか

認知症サポーターも参加して開催している「カフェさくら」が、チームオレンジ活動に発展しています。カフェの開催前は、参加する人や地域で気になる人の情報共有をします。必要に応じて、カフェの行き帰りの付き添いも行っており、安心して来てもらえる環境を心がけています。

参加する人がやりたいといったゲームを用意したり、意見交換や思い出話ができるような話題を提供するために新聞記事集めをしたりと、工夫しています。「子どもが好き」という認知症の人の声から、保育園との交流行事も実施しました。

このカフェが、「桜が咲く春のような暖かい場所になってくれれば」という思いで、地域での見守りや認知症の人との交流を続けています。



4. 鶴間地域

▷ みんなで楽しみながら おしゃべりで元気に！

もっとみんなで、お話することを楽しみたい！地域包括支援センターのクローバーカフェ(認知症カフェ)で集まったメンバーの声をもとに、「おしゃべり会」を月1回行っています。

クローバーカフェは年に4回。カフェを開催しない月は「おしゃべり会」がありますので、1年を通じ、皆さん楽しく交流をしています。



▷ みんなの居場所になれば

- がくいきの会 -

健康講座や楽しいレクリエーションなどを通じ、地域の人とのコミュニケーションの場を開いています。認知症への理解を深めるためのオレンジカフェは、安心して過ごせると好評です。



5. 深見大和地域

▷ 私の、あなたの、「楽しい」を見つけよう

- このゆびとまれの会 -

市場カフェでは、認知症の人やその家族、チームオレンジのメンバーを中心に、地域の人々が垣根なく交流しています。カフェの活動を通じて、参加する人が「楽しい」と思うことを探していきます。

例えば、絵が得意なメンバーがいたため、昔話のパズルや絵を認知症の人も交えて作成しました。浦島太郎や因幡の白兎など、昔の思い出とともに話が弾みます♪ 地域包括支援センターの上には保育園があるため、その子どもたちとの交流も見据えています。

認知症の人、そうでない人も、地域と繋がる居場所や趣味活動を行う場として、大切にこの場を育てていきたいと考えています。



6. 上草柳・中央地域

▷ 情報が届きにくい人へ、情報を届ける！

- ほっこり -

情報が届きにくい人へ、生活に必要な地域の情報をお届けする活動です。コロナ禍で明るみになった地域課題から生まれたもので、当事者とサポーターがチームになって取り組んでいます。封入から訪問等、多くの作業をそれぞれの得意分野で分担しています。作業後は活動を振り返る場を設け、活発な意見交換を行っています。



認知症の本人も活躍する梱包作業



お届け先で、話がはずむ

7. 福田北地域

▷ サロンでおしゃべりや体操、 日常を見守る、 イベントスタッフでも大活躍

- ①自宅 みんなが集まれるサロン「あおい」を開催しています。
- ②福きたカフェ(認知症カフェ)で活躍しています。イベントの際は認知症の人と近隣のメンバーが声を掛け合い、一緒に参加しています。



福きたカフェの準備



サロン「あおい」を運営
地元の人たちの集まる場所



げ・ん・きのデイサービスの認知症カフェでは
認知症の人を交え七並べ対決



ゆったりと昔話を聞きます

8. 福田南地域

▷ 認知症の正しい知識を広げ 仲間と活動を楽しむ！

- たんぽぽの会 -

おれんじカフェ 話笑和の輪(認知症カフェ)や家族交流会、認知症サポーター養成講座など様々な場所で活躍しています。令和6年度は認知症に関する紙芝居を作成し、子どもたちに披露する等、活動をみんなで楽しんでいます。「おたがいさま」で、優しい心を一人ひとりが育んでいます。

当初は介護予防を意識したグループでしたが、それと合わせて認知症への理解や認知症の人との交流・応援なども考えていくようになりました。「自分にできることから無理なく始める」がモットーです。



アイデアは自由

なにげない心遣いを大切に



できることから始める



みんなで楽しむ

9. 桜丘・和田地域

たくさんの活動が行われています！



▷ 相手の話を受け入れる

もともと地区社協の傾聴ボランティアを行っており、チームオレンジとしての活動にもなりました。秘密厳守で、とにかくその人の話をよく聴くことを意識しています。



▷ 認知症カフェでのサポート

れんげカフェの運営に携わっています。「無理なくできる範囲で」をモットーに、特技を生かした活動も行います。カフェでは体操やゲーム、お菓子を作ることもあります！



▷ 団地での交流

華ようサロンという交流の場が上和田団地にあります。準備や後片付けだけでなく、行き帰りの付き添いも行います。以前よりボランティアをしており、「地域でお手伝いできることがあれば」という思いでチームオレンジとしても活動しています。

▷ ほっとひと息つける場に

どこにあるか
歩いて探してみましょう♪

地域の人々の憩いの場になればと、自宅の1階にカフェスペースを提供しています。認知症の人に限りませんが、カフェに来た人と会話をしたり、一緒に手作業をしたりしています。

～自分たちで認知症カフェをつくりませんか！～



認知症カフェを運営する団体等に、運営費用の一部を補助する制度があります。

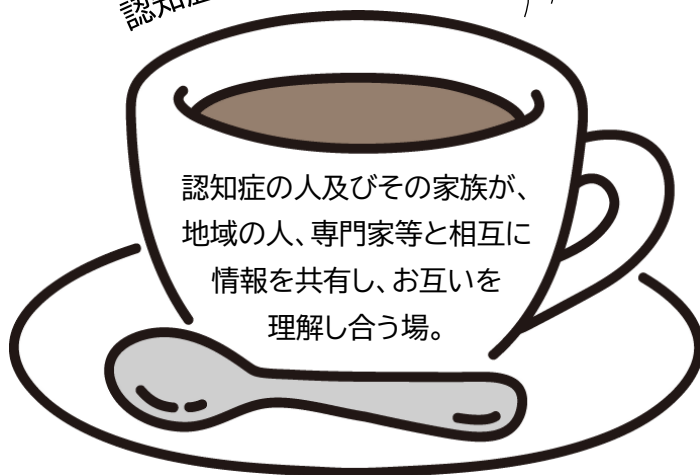
1年以上継続する意思があり年6回以上開催すること、市内に活動拠点があること、認知症の相談に対応できる専門職を配置することなど、一定の条件があります。

詳細は、市HPをご確認ください。

大和市認知症カフェ運営補助金



認知症カフェとは



認知症の人及びその家族が、
地域の人、専門家等と相互に
情報を共有し、お互いを
理解し合う場。

☆ お問合せはこちらまで ☆

大和市 人生100年推進課 認知症施策推進係

電話 046-260-5612